

◆◆◆ねずみ捕り◆◆◆

■ 恥ずかしながら私はこれまでに三度もやられました。
ねずみ捕り。正式には「定置式速度取締り」というようです。
さすがに最近はありませんが、若い時分に捕まった時は
速度超過している自分が悪い、とわかっているにもかかわらず、
横着な態度で対応していたものです。



■ 自宅から車で10分ほど走ったところにもその「ポイント」があります。
そこはゴルフ場が近くにあるのですが、ふだん車の行き来は決して多くありません。
側道を人が歩いていることもほとんど見かけません。見通しもよく、道路の幅も広い。
気持ちよく走れる道です。なのに制限速度は40キロメートル。
そこにときどき潜んでいらっしゃいます。
隠れている警察関係者の方を観るたびに私は、「何のために取締まっているの？」
と思います。本来の目的は交通事故を少しでも減らし、私たちの安心安全を守ること。
それなのに…そう苦々しく思いながら私は必要以上に速度を落として嫌味のように
そこを走り抜けるのでした。

■ 以前勤めた学校前の道路も、ときどき「ねずみ捕り」が行われていました。
その時のことです。いつもは制限速度を超過して走る車が多いのですが、
その日はなぜだかほとんどの車がゆっくり走っていきます。
取締りが終わり、挨拶に来られた若い警察官に私は、
「今日は成果が出なかったですねえ」と声をかけました。
するとその方は、
「いえ、よかったです！子どもたちが安心して安全に登校できる
ことが大事ですから。それでは、有難うございました！」
と爽やかに去って行かれました。
私はとても恥ずかしくなりました…。

